

「遷延性（せんえんせい）意識障がい」に関する実態調査結果

【令和元年7～8月 大分県福祉保健部障害福祉課調査】

遷延性意識障がいとは、いわゆる「植物状態」のことをいいますが、日本脳神経外科学会は、遷延性意識障がいを次の（１）から（６）まで全てを満たす状態が、３か月以上継続している場合であると定義しています。

- （１）自力移動ができない
- （２）自力摂食ができない
- （３）失禁がある
- （４）眼球が動いていても認識することができない
- （５）簡単な命令には応じることもできるが、意思疎通ができない
- （６）声を出しても意味のある発語ができない

1 遷延性意識障がいの方の人数について

1,077名（うち在宅 38名） ※以下（ ）はうち在宅の方の数

2 性別について

男性 326名（18） 女性 751名（20）

3 年齢について

18歳未満	12名（8）	50～59歳	17名（2）
18～29歳	8名（4）	60～69歳	81名（2）
30～39歳	7名（5）	70～79歳	173名（6）
40～49歳	16名（0）	80歳以上	763名（11）

4 当事者の住所地（市町村）について ※住民票のあるところ

大分市	252名（26）	杵築市	52名（2）
別府市	170名（0）	宇佐市	54名（2）
中津市	73名（1）	豊後大野市	92名（1）
日田市	60名（0）	由布市	12名（2）
佐伯市	82名（1）	国東市	38名（2）
臼杵市	27名（0）	姫島村	1名（0）
津久見市	21名（0）	日出町	28名（0）
竹田市	39名（1）	九重町	3名（0）
豊後高田市	52名（0）	玖珠町	15名（0）
		県外	6名（0）

5 当事者の所在（施設の種別）について ※現在生活されているところ

障害者支援施設	16	名	
医療型障害児入所施設	6	名	
グループホーム	2	名	
介護老人福祉施設	356	名	
介護老人保健施設	154	名	
介護療養型医療施設	1	名	
介護医療院	46	名	
病院	444	名	
診療所（有床）	14	名	
在宅	38	名	※在宅には有料老人ホームの3名を含む

6 発症原因について

脳血管疾患	552	名	(8)
頭部外傷	35	名	(4)
心疾患	38	名	(0)
低酸素脳症	66	名	(7)
脳炎・脳腫瘍	16	名	(6)
その他（内容は別紙）	370	名	(13)

7 医療的ケアについて（複数回答可）

経管栄養（経鼻・胃ろう含）	788	名	(33)
たん吸引	730	名	(33)
経口摂取（全介助）	275	名	(2)
気管切開	177	名	(14)
導尿	109	名	(5)
呼吸管理	124	名	(11)
中心整脈栄養	41	名	(1)
透析	3	名	(0)
その他（内容は別紙）	88	名	(9)

発症原因（「その他」の内容）

	全体数	うち在宅
認知症	191	1
不明	38	1
パーキンソン病（症候群）	37	2
アルツハイマー型認知症	14	1
廃用症候群	11	
肺炎	9	
進行性核上性麻痺	7	
多系統萎縮症	6	2
脳性麻痺	5	
脊髄小脳変性症	4	1
筋萎縮性側索硬化症	4	3
精神疾患	3	
脊髄損傷	2	
褥瘡	2	
進行性筋ジストロフィー	2	
統合失調症	2	
うつ病	2	
もやもや病	2	
てんかん	2	
老衰	2	
ミトコンドリア脳筋症	2	
クロイツフェルト・ヤコブ病	2	
がん	2	
髄膜炎	2	
慢性腎不全	2	
知的障がい	1	
骨髄異形成症候群	1	
非代償性肝硬変症	1	
慢性閉塞性肺疾患	1	
蘇生後脳症	1	
糖尿病	1	
重症筋無力症	1	
腸閉塞	1	
神経バージェット病	1	
熱中症後遺症	1	
副腎白質ジストロフィー	1	
遺伝性びまん性白髄質脳症	1	
水頭症	1	
ハラマンストライフ症候群	1	1
ファール病	1	1
	370	13

医療的ケア（「その他」の内容）

	全体数	うち在宅
インスリン	42	
カテーテル	10	7
血糖測定	10	
褥瘡管理	8	1
ストーマ	5	
膀胱ろう	3	
モニタリング	3	
疼痛管理	3	
末梢点滴	2	
排便管理	2	1
	88	9